

# 技術開発事例

技術相談

# 農業用ビニールハウス向け薪ストーブの技術開発支援

【相手先企業】 株式会社斉藤鉄工建設, ひさまつ農園

## 【開発の背景】

一般に、農業用ビニールハウスで使用する暖房機器は石油を燃料としています。震災の影響でエネルギー問題が浮上し、石油の代替としての森林資源の利活用、および暖房費のコスト削減を目指して、農業用ビニールハウス向けの薪ストーブを開発しました。

## 【開発の経緯・支援内容】

対象企業が開発した薪ストーブのフィールド試験のため、ひさまつ農園とのマッチングを行いました。またフィールド試験の際に、薪ストーブ本体およびビニールハウス内の温度測定を行い、薪ストーブの性能を検証しました。

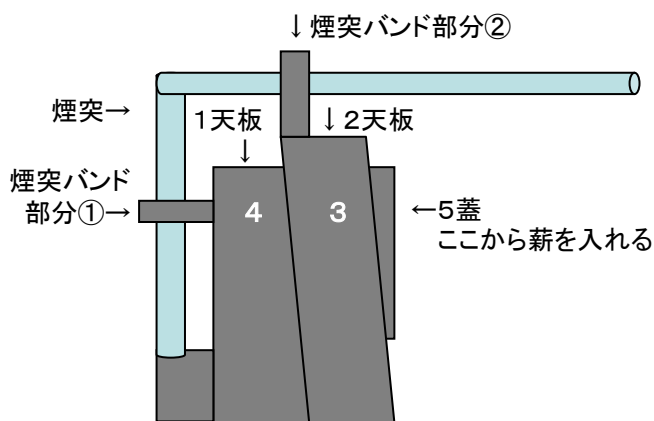


図1 薪ストーブの模式図

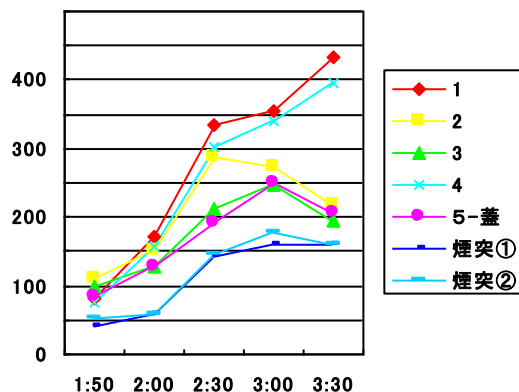


図2 燃焼中のストーブ表面温度



図3 フィールド試験の様子

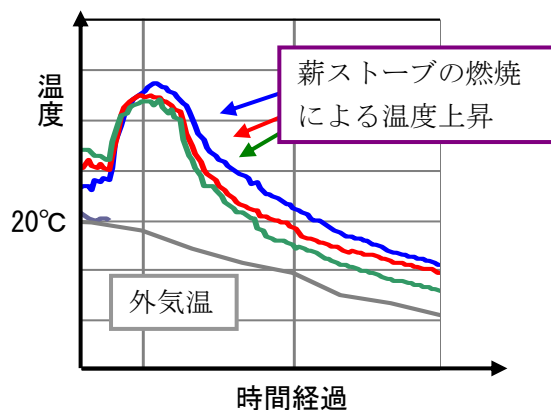


図4 ビニールハウス内の温

## 【今後の展開等】

薪の量や状態によって燃焼温度や持続時間が大きく変わるため、様々なケースでの試験を通して最適な燃焼条件を検討し、薪ストーブの性能向上を図る予定です。

基礎となった事業	平成 23 年度 試験研究指導費 (標準)				
担当部門	産業連携室	室 長	大力 賢次	TEL : 029-293-7213	
	いばらきサロン	主任研究員	尾形 尚子	TEL : 029-858-6015	
	技術融合部門	嘱 託	蛭田 政宏		
		部 門 長	齋藤 和哉	TEL : 029-293-7482	
	主 任	谷萩雄一朗			